

平成 1 9 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 ノマド福 祉 会

目 次

法人全体（小樽・発寒共通）

法人本部	1
（1）概況	1
（2）理事会開催状況	1
（3）評議員開催状況	2
（4）役員研修	3
（5）広報活動事業	2
（6）監査等の実施	3
（7）施設内研修	4
（8）防火管理等	5

小樽部門

I 事業報告	
1 総 括	8
2 職 員 状 況	9
3 職 員 会 議	10
4 職 員 研 修	12
5 苦 情 受 付 状 況	15
II 事業別事業報告	
1 特別養護老人ホーム	17
2 ショートステイ事業	25
3 デイサービス併設型	28
4 デイサービス認知症対応型	34
5 ホームヘルプサービス事業	39
6 居宅介護支援事業所	42
7 ケアハウス	45
8 グループホーム・生活支援ハウス	52
9 地域交流事業	65

発寒部門

I 事業報告	
1 総 括	70
2 職 員 状 況	71
3 職 員 会 議	72
4 職 員 研 修	74
5 苦 情 受 付 状 況	75
II 事業別事業報告	
1 特別養護老人ホーム	82
2 ショートステイ事業	90
3 デイサービス併設型	93
4 居宅介護支援事業所	98
5 北 17 条デイサービス	100

I 事 業 報 告

1 総 括

平成19年度は、各事業所において、稼働率の低下が大きな問題となった。特に特別養護老人ホームにおける長期入所・短期入所、及びデイサービスの利用者減少は経営状況の悪化に直結し、サービス改善や営業努力が課題となったため、あらたにサービス向上委員会を組織し、サービス改善等について検討を行なった。また、デイサービスの土曜日営業中止、競争力を持つ認知症対応型デイサービスの定員増、職員配置の見直し等、事業運営の効率化を図り、下半期は稼働率や収支状況の改善が徐々に見られてきた。回復傾向にある稼働率を、20年度に継続できるよう、さらなる改善に努力していきたい。

部署別に見ると、特別養護老人ホームにおいては、入所者の重度化や看取りの増加等、職員の負担は増加する一方であり、さらに身体拘束廃止の取り組み、栄養マネジメント等、加算・減算方式という現行の介護保険制度の仕組みによる事務作業の増加、事故防止、感染症予防、褥瘡予防等に関するマニュアル作成及び研修の実施という運営基準への対応に追われた1年でもあった。

デイサービスでは、市内事業所の増加、国の予防給付推進の影響を受けた要介護者の減少等、特に利用者確保が困難な要因を抱えることとなった。また、個別機能訓練加算や予防給付への対応等、多様なサービス提供と事務作業の増加は、職員の負担を増大させ、離職の要因ともなっている。認知症対応型デイサービスでは、小規模ユニット型のサービス形態が認知症ケアに効果を現し、利用者・家族・ケアマネージャー等から高い評価をいただいた。

ヘルパーステーションでは、「特定事業所」としての責務を果たすため、研修、ミーティング、ケアプラン、記録等の充実及びサービスの質向上に努めた。しかし、予防給付の増加、給付制限とともれる介護報酬算定の解釈に関する問題等が山積し、市内においては閉鎖する事業所が相次いだように、経営状況は厳しさを増している。

居宅介護支援事業所では、デイサービスやヘルパーステーションと同様に、要介護者の減少を受け、登録者が減少している。また、ケアハウス及び生活支援ハウスでも、入居希望者が減少しており、地域住民のニーズとの合致を模索しなければならないと考えている。

グループホームでは、前年度からの課題であった「医療連携体制」を整備し、入居者の健康管理を充実させている。しかし、開設から4年を経過し、入居者の重度化が進んだため、看取りも視野に入れたケアが求められており、更なる体制整備が求められている。

また、18年度に休止していた訪問看護ステーションは、看護師の不足が困難なため、指定更新をすることができず廃止とした。

ホームヘルパー養成講座(2級)は2年目の開催となり、働きながら資格取得を目指す方を支援するため、通信制の形態を試みた。3名の修了者を送り出すのみであったが、内2名は法人内の事業所に就職しており、介護人材不足を補う結果となった。

全体的には、厳しい運営状況であり、職員の待遇改善も大きな課題である。今後も、介護保険制度に依存するリスクを最小限にするため、様々な取り組みを検討していく必要があると考える。

2 職員状況

3 職員会議

チームアプローチによる総合的ケアの推進と、部署及び職種間の緊密で円滑な連携を実現するため、必要な以下の会議を適宜開催し、職員相互の理解と情報の共有化を図った。

(1) 施設全般

- 1) **朝礼**(施設長、事務・看護・介護職員、ケアマネージャー、ケアハウス職員)
平日毎朝 8:30～ 10分間 247回実施
- 2) **幹部会議**(理事長、法人役員職員)
毎週月曜 13:00～ 1時間 48回実施
- 3) **職員全体会議**(全職種職員)
年2回以上 19:00～ 1時間 2回実施
- 4) **給食会議**(施設長、厨房調理師、委託先職員、給食委員会メンバー)
毎月最終木曜 16:00～ 30分間 8回実施
- 5) **ボランティアミーティング**(施設長、ソーシャルワーカー、看護・介護職員、ボランティア)
毎月1回 13:30～ 1時間 10回実施

(2) 特別養護老人ホーム

- 1) **朝・タミーティング**(看護・介護職員ほか)
毎日 9:45～10分間 17:00～30分間 732回実施
- 2) **ケアカンファレンス**(看護・介護職員、栄養士ほか)
毎週水曜・他随時 10:30～30分間 116回実施
- 3) **リーダー会議**(介護職員)
毎月1回以上 19:00～ 1時間 2回実施
- 4) **ホーム会議**(施設長、ソーシャルワーカー、看護・介護職員ほか)
不定期 2回実施
- 5) **入所判定会議**(統括施設長、施設長、介護課長、看護課長、ケアマネージャー、ソーシャルワーカー)
適宜随時 39回実施
(入居判定基準に基づく判定会議：3回、特例入所・繰上入所判定会議：各18回)
- 6) **フロア会議**(看護・介護職員)
適宜随時／各階フロア 計20回実施
- 7) **運営会議**(施設長、看護主任、介護主任、介護主任補佐、ソーシャルワーカー)
適宜随時 10回実施
- 8) **学習委員会**(学習委員会メンバー)
適宜随時 2回実施
- 9) **業務委員会**(業務委員会メンバー)
毎月1回 12回実施
- 10) **事故防止委員会**(事故防止委員会メンバー)
適宜随時 12回実施
- 11) **月行事運営委員会**(各月行事委員会メンバー)
毎月1回以上 22回実施

(3) デイサービスセンター

- 1) 朝・タミーティング（デイサービスセンター職員）
実施日毎日 8:35～5分間 17:00～30分間 615回実施
- 2) ケアカンファレンス（デイサービスセンター職員）
毎月1～2回 17:30～1時間 24回実施
- 3) 利用開始判定会議（デイサービスセンター職員）
適宜随時 併設型 35回実施
痴呆併設型 25回実施
- 4) 行事会議（デイサービスセンター職員）
月2回 24回実施
- 5) デイサービス会議（デイサービスセンター職員）
適宜随時 12回実施
- 6) 認知症対応型会議（デイサービスセンター職員）
月1回 12回実施

(4) ホームヘルプサービス

- 1) ヘルパー会議（サービス提供責任者、ヘルパー職員）
毎月月末1回 17:30～1時間 12回実施

(5) ケアハウス

- 1) 朝・タミーティング（ケアハウス職員）
平日毎日 10:00～30分間 16:30～30分間 403回実施
- 2) 給食（ケアハウス職員）
毎月最終木曜 16:00～30分間 8回実施
- 3) 行事会議（ケアハウス職員）
毎月第1火曜日 10:30～1時間 12回実施
- 4) ケアカンファレンス（ケアハウス職員）
適宜随時 12回実施
- 5) 入所判定会議 5回実施

(6) グループホーム

- 1) ケアカンファレンス
毎月1～2回 18:00～2時間 114回実施
- 2) リーダー会議
概ね月1回 17:30～19:00 10回実施
- 3) ユニット会議
概ね月1回 18:00～19:00 15回実施
- 4) グループホーム会議
毎月1回 18:00～19:00 12回実施

- 5) 入所判定会議
適宜随時 3回実施
- 6) 行事会議 8回実施
- 7) 自己防止・防災会議 5回実施
- 8) 拘束廃止会議 5回実施
- (7) 生活支援ハウス
1) 支援ハウス会議 10回実施

4 職員研修

職員の資質向上、専門的知識の習得等を目的として、以下の外部研修に積極的に参加し、又、施設内においても以下のとおり自主研修を開催した。

(1) 施設外研修

開催年月日	研修内容	参加職種	参加人数
【ホーム】			
4/20	介護予防のための運動指導「科学的根拠に基づく健康づくり」	ケアワーカー	3
4/21	元気の出るターミナルケアセミナー	ケアワーカー	2
5/17～5/18	新任施設相談員研修	ソーシャルワーカー	1
5/26	第三回チーム医療支援セミナー	ケアワーカー	1
5/30～5/31	新任介護職員研修Ⅰ	ケアワーカー	1
6/6～6/8	介護職員専門研修Ⅱ	ケアワーカー	1
6/8	第5回食中毒予防フォーラム 安心して魚介類を食べるために	栄養士	2
7/12～7/13	新任栄養士・調理員研修	栄養士	1
7/23～7/27	北海道認知症介護実践研修(第2回実践者研修)	ケアワーカー	1
7/24～7/25	平成19年度介護支援専門員専門研修Ⅱ	ケアマネージャー	1
7/30～7/31	介護職員専門研修Ⅰ	ケアワーカー	1
8/1～8/3	平成19年度介護職員専門研修Ⅱ③	ケアワーカー	1
8/8	第28回老人福祉施設研究発表会 第一回研修委員・実行委員 合同協議	栄養士	1
8/9	施設見学(デイ グリューネン)	栄養士	1
9/1～9/2	2007年度社会福祉士全国統一研修・北海道ブロック 支援の新たな道～ひと・まち・くらしを支える社会福祉士	ソーシャルワーカー	1
10/1～10/5	平成19年度北海道認知症介護実践研修(第3回実践者研修)	ケアワーカー	1
10/25～10/26	後志管内老人福祉施設協議会 給食担当職員研修会	ケアマネージャー・栄養士	1・1

10/30～10/31	後志老人福祉施設協議会 直接処遇職員研修	ソーシャルワーカー	1
11/5～11/6	介護職員専門研修 I	ケアワーカー	1
11/13～11/14	第 28 回老人福祉施設研究発表会	栄養士	1
11/21～11/22	平成 19 年度看護師専門研修 I・II (第 2 回)	看護職員	1
11/27～11/28	平成 19 年度栄養士専門研修(成人施設)	栄養士	1
2/25	平成 19 年度 身体拘束廃止推進委員研修会 初任者研修	ソーシャルワーカー	1
【デイサービス】			
4/20	介護予防のための運動指導「科学的根拠に基づく健康づくり」	看護職員・ケアワーカー	1・1
6/4～6/5	介護職員専門研修 I	ケアワーカー	1
10/10～10/12	北海道介護支援専門員専門研修 II	ソーシャルワーカー	1
11/5～11/6	介護職員専門研修 I	看護職員	1
11/15～11/16	平成 19 年度後志デイサービス協議会職員研修	ソーシャルワーカー・他	2・1
12/7	平成 19 年度通所ケアマネジメント研修	ソーシャルワーカー	1
12/10～12/11	平成 19 年度新任介護職員研修	ソーシャルワーカー	1
3/4～3/5	平成 19 年度第 3 回計画作成者研修会	ソーシャルワーカー	1
【ホームヘルプサービス】			
5/30～5/31	新任介護職員研修	ホームヘルパー	1
6/4～6/5	介護職員専門研修 I	ホームヘルパー	1
7/12～7/13	平成 19 年度全道ホームヘルプサービス研究大会	サービス提供責任者	1
8/1～8/3	平成 19 年度介護職員専門研修 II ③	ホームヘルパー	1
【居宅介護支援事業所】			
6/15	平成 19 年度北海道介護支援専門員専門研修 I (選択B)	ケアマネージャー	1
6/21～6/22	日本ケアマネジメント学会 第 6 回研究大会	ケアマネージャー	2
7/15～7/17	小規模多機能ケア全国セミナー	ケアマネージャー	1
8/15～8/17	平成 19 年度介護支援専門員専門研修 II	ケアマネージャー	1
11/13～11/16	平成 19 年度北海道介護支援専門員実務従事者基礎研修	ケアマネージャー	2
12/10・12/11 12/12・12/14	平成 19 年度北海道介護支援専門員実務従事者基礎研修	ケアマネージャー	1
2/13	北海道介護予防支援従事者研修	ケアマネージャー	2
【グループホーム】			
4/20	介護予防のための運動指導「科学的根拠に基づく健康づくり」	ケアワーカー	3
6/4～6/5	全国認知症グループホーム大会 2007 年フォーラムin北海道	施設長・ケアワーカー	1・1
6/8	第 5 回食中毒予防フォーラム「安心して魚介類を食べるために」	ケアワーカー	1
8/9	道央ブロック石狩地区スタッフ研修会	ケアワーカー	2
8/27～8/28	第 5 回グループホーム介護スタッフレベルアップ研修会	ケアワーカー	1
8/28	北海道認知症高齢者GH協議会道央ブロック後志地区	ケアワーカー	3

	スタッフ研修会		
9/15	小樽市認知症高齢者グループホーム連絡協議会「平成 19 年度第 2 回研修会」	ケアワーカー	2
9/21	北海道認知症高齢者GH協議会道央ブロック後志地区スタッフ研修会	ケアワーカー	2
9/25	認知症介護セミナー2007in 北海道	ケアワーカー	4
10/10～10/11	平成 19 年度第 3 回スタッフ研修会	ケアワーカー	2
11/26	平成 19 年度北海道グループホーム実践報告会	ケアワーカー	1
12/11	道央ブロック後志地区実践報告会	ケアワーカー	1
12/12	実践報告(認知症の改善とターミナルケア)	ケアワーカー	1
12/3～1/16	平成 19 年度 第 4 回北海道認知症介護実践研修	看護職員・ケアワーカー	1・1
2/13	北海道介護予防支援従事者研修	ケアマネージャー	1
2/20	北海道認知症高齢者GH協議会 道央ブロック後志地区実践報告会・研修会	ケアワーカー	5
3/4～3/5	第 3 回計画作成者研修	ケアマネージャー	1
3/10	身体拘束廃止推進委員研修会実践者研修会	ケアワーカー	1
3/19	小樽市認知症高齢者グループホーム連絡協議会研修	ケアマネージャー	1

(7) 施設内研修

開催年月日	研修内容	講師等	参加職種
【法人全体】			ケアワーカー・ケアマネ・SW・栄養士 計24名
19. 4. 11～13	新採用者研修	施設内職員	ヘルパー 計16名
19. 4. 16	ホームヘルパー研修①	施設内職員	ヘルパー 計16名
19. 5. 10	ホームヘルパー研修②	施設内職員	ヘルパー 計16名
19. 6. 10	ソーシャルワーク研修	施設内職員	SW・ケアマネ 計12名
19. 6. 13	リーダー研修①	施設内職員	ケアワーカー・SW・ケアマネ・ヘルパー 計17名
19. 7. 11	中堅者研修①	施設内職員	ケアワーカー・看護師・SW・ケアマネ・ヘルパー 計15名
19. 7. 26	ホームヘルパー研修③	施設内職員	ヘルパー 計17名
19. 8. 8	初任者研修①	施設内職員	ケアワーカー・ケアマネ・ヘルパー・栄養士 計14名
19. 8. 23	ホームヘルパー研修④	施設内職員	ヘルパー 計17名
19. 9. 12	認知症ケア研修①	施設内職員	ケアワーカー・看護師・ケアマネ・ヘルパー 計19名
19. 9. 19	リーダー研修②	施設内職員	ケアワーカー・ケアマネ・ヘルパー 計12名
19. 9. 20	ホームヘルパー研修⑤	施設内職員	ヘルパー 計13名
19. 10. 10	中堅者研修②	施設内職員	ケアワーカー・看護師・ケアマネ・ヘルパー 計9名
19. 10. 19	全体研修	施設内職員	全職種 計37名
19. 10. 25	ホームヘルパー研修⑥	施設内職員	ヘルパー 計14名
19. 11. 7	中堅者研修③	施設内職員	ケアワーカー・看護師・ケアマネ・ヘルパー 計11名
19. 11. 7	ホームヘルパー研修⑦	施設内職員	ヘルパー 計19名
19. 12. 12	採用時研修	施設内職員	ケアワーカー・ヘルパー・看護師 計11名
20. 1. 16	スーパービジョン研修	施設内職員	ケアワーカー・事務・SW・ケアマネ・ヘルパー 計15名
20. 2. 20	初任者研修②	施設内職員	ケアワーカー・ヘルパー・看護師 計9名

(8) 防 火 管 理 等

(1) 避難訓練及び消火訓練の実施

小樽	1回目	平成19年 7月23日実施	夜間想定通報連絡・避難誘導・消化訓練	名参加
			特養・ケアハウス	11名参加
			グループホーム・生活支援ハウス	18名参加
			守衛	3名参加
2回目	平成20年 1月21日実施	日中想定通報連絡・避難誘導		
		特養・ケアハウス	11名参加	
		グループホーム・生活支援ハウス	18名参加	
発寒	1回目	平成19年9月14日実施	夜間想定通報・避難誘導訓練	
			特養	20名参加
2回目	平成19年10月16日実施	夜間想定通報・避難誘導訓練		
		特養	20名参加	

(2) 消防用設備点検の実施

小樽	平成19年7月23日実施	委託先	ホーチキシステム(株)	
	内容	消火器具、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯・誘導標識、非常電源(自家発電設備・蓄電池設備)、防火扉設備・防火シャッター、配線点検		
発寒	平成19年 7月10日実施	委託先	ホーチキシステム(株)	
	内容	消火器具、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯・誘導標識、非常電源(自家発電設備・蓄電池設備)、防火扉設備・防火シャッター、配線点検		
内容	平成19年 9月14日	防火対象物点検	委託先	ホーチキシステム(株)
	内容	防火管理者の選任、消防計画の作成等		

II 事業別事業報告

1 法人本部

1 特別養護老人ホーム

2 ショートステイ事業

3 デイサービス併設型

4 デイサービス認知症対応型

5 ホームヘルプサービス事業

6 居宅介護支援事業所

7 ケアハウス

8 グループホーム・生活支援ハウス

9 地域交流事業

法人本部

(1) 概況

理事会及び評議員会については、計各4回と3回開催され、介護保険事業、地域福祉事業等各般の問題について、活発な議論が交わされた。

その他適正な介護保険サービスの提供及び地域福祉事業の推進のために必要な研修事業、広報事業等を適宜実施した。

(2) 理事会開催状況

区分	開催 年月日	出席者数		欠席 者数	議 事 内 容
		理事	監事		
理 事 会	H19.5.25	8	2	2	運営指導監査報告について 平成18年度事業報告(案)について 平成18年度決算報告(案)について 決算監査報告について 認知症対応型デイサービスはっさむはるの廃止について
	H19.10.15	7	1	3	第1四半期監査報告について 北17条デイサービスセンター事業計画について 規程の一部改定について 定款変更(北17条の目的事業の追加)について 債権流動化契約の更新について
	H20.1.29	7	1	3	北17条デイサービスセンターについて(見積り合せ結果等について) 規程の一部改定について 運営指導監査報告について 第2四半期会計監査報告について
	H20.3.25	8	1	2	第3四半期監査報告について 平成19年度補正予算について 平成20年度当初予算について 平成20年度事業計画について 定款変更について

(3) 評議員会開催状況

区分	開催 年月日	出席者数		欠席 者数	議 事 内 容
		評議員	監事		
評 議 員 会	H19. 5.25	19	2	2	運営指導監査報告について 平成18年度事業報告（案）について 平成18年度決算報告（案）について 決算監査報告について 認知症対応型デイサービスはっさむはるの廃止について
	H19. 10.15	13	1	8	北17条デイサービスセンター事業計画について 規程の一部改定について 定款変更（北17条の目的事業の追加）について 債権流動化契約の更新について 第1四半期監査報告について
	H20. 3.25	16	1	5	北17条デイサービスセンターについて（見積合せ結果等） 運営指導監査報告について 第2四半期会計監査報告について 第3四半期会計監査報告について 規程の一部改定について 平成19年度補正予算について 平成20年度当初予算について 平成20年度事業計画について 定款変更について 理事・監事の改選について

(4) 役員研修

開催日時	参加研修名	参加役員	人数
7/12	北海道デイサービスセンター研究協議会	評議員	1
11/15～11/16	平成19年度後志デイサービスセンター職員研修会	評議員	1
11/27～11/28	北海道後志老人福祉協議会施設長研修	評議員	1

(5) 広報活動事業

ホームページ 1月より新規に更新

小樽 デイ① H19. 4月 広報誌「逢」

② H19. 8月 広報誌「逢」

③ H19. 12月 広報誌「逢」

札幌 デイ① H19. 4月より毎月発行 広報誌「はあとふる」

北17条① H20. 1より毎月発行

(6) 監査等の実施

小樽 i) 平成 18 年度事業執行及び決算監査(法人監事)

平成 19 年 5 月 17・18 日 於特別養護老人ホームはっさむはる

ii) 平成 19 年度会計経理執行状況内部監査(法人監事)

平成 19 年 8 月 3 日 於特別養護老人ホームはる

III) 平成 19 年度会計経理行状況内部監査(法人監事)

平成 19 年 11 月 19 日 於特別養護老人ホームはっさむはる

IV) 平成 19 年度介護保険施設等実地指導(北海道後志支庁)

平成 19 年 12 月 4 日 於特別養護老人ホームはる

V) 平成 19 年度会計経理執行状況内部監査(法人監事)

平成 20 年 3 月 24 日 於特別養護老人ホームはる

発寒 I) 平成 19 年度社会福祉施設指導監査(札幌市指導監査室)

平成 19 年 6 月 27 日 於特別養護老人ホームはっさむはる

II) 平成 19 年度介護保険施設等実地指導(北海道石狩支庁)

平成 19 年 12 月 20 日 於特別養護老人ホームはっさむはる

III) 介護サービス情報の公表制度の実地調査

平成 20 年 1 月 10 日

地域交流事業

(1) 概況

特別養護老人ホーム・ケアハウス・グループホームの入居利用者は、昨年度に引き続き、市立赤岩保育所の保育園児との交流を活発に行った。また、7月1日(日)、晴天下、特別養護老人ホームはる構内にて「はる夏まつり」を開催し、利用者、家族はじめ地域住民等の参加・協力さらにアニマルセラピーを目的として、ボランティアドッグの訪問活動を通じ、市内のボランティア会員の方とも交流を図った。

その他、市立北山中学校をはじめ各学校等との交流、施設見学及び藤女子大生をはじめ実習生の受入等を継続して行った。又、ボランティアグループ「あかり」においては独自の充実した活動が昨年度に引き続き、展開された。

(2) ボランティアグループ「あかり」の活動

年 度	登録人数	活動延総数	活動延時間	1日平均人数	1日平均活動時間
平成17年度①	21人	1,112人	4,819時間	3.0人	13.2時間
平成18年度②	16人	1,004人	4,319時間	2.7人	11.8時間
平成19年度③	20人	954人	4,237時間	2.6人	11.6時間
比較 ②-③	4人	▲50人	82時間	0.1人	0.2時間

主な活動内容

- ・月行事、喫茶など、施設行事のサポート
- ・紙芝居、ビデオ上映時等におけるサポート
- ・利用者の衣服等修繕、作成のための裁縫等
- ・音楽療法時のサポート
- ・おしも拭きつくり
- ・話相手としてのサポート

(3) 実習生の受入

① 看護実習

学 校 名 等	実 習 内 容	実 習 場 所	期 間	人数	
小樽看護専門学校	在宅看護実習	デイサービスセンターはる	H19.4.16-17	2日間	2名
			H19.4.19-20	2日間	2名
			H19.4.23-24	2日間	2名
市立小樽病院高等看護学院	在宅看護実習	デイサービスセンターはる	H19.9.18-20	3日間	3名
			H19.9.25-27	3日間	3名
			H19.10.9-11	3日間	3名
			H19.10.22-25	4日間	3名
			H19.11.12-15	4日間	3名

② ソーシャルワーカー実習

学 校 名 等	実 習 内 容	実 習 場 所	期 間	人数
北星学園大学	ソーシャルワーク実習	特別養護老人ホームはる	H19.8. 7- 9.6	1名
			H20.3.12- 3.16	1名

		デイサービスセンターはる	H19.8. 7- 9.6	1
藤女子大学	〃	デイサービスセンターはる	H19.5.14-7.6	6

③ ホームヘルパー実習

学校名等	実習内容	実習場所	期間	人数
小樽双葉高校	ホームヘルパー2級実習	特別養護老人ホームはる	H19.7.23-8.17	14
		デイサービスセンターはる	H19.7.23-8.17	14
		特別養護老人ホームはる	H20.1.28-3.21	16
		デイサービスセンターはる	H20.1.28-3.21	16

④ 介護福祉士実習

学校名等	実習内容	実習場所	期間	人数
NHK学園	介護福祉士実習	特別養護老人ホームはる	H19.9.3-9.14	1

⑤ インターンシップ

学校名等	実習内容	実習場所	期間	人数
小樽工業高校	職業体験実習	特別養護老人ホームはる	H19.9.12-9.14	3
小樽商業高校	職業体験実習	特別養護老人ホームはる	H19.11.13-15	3

⑥ 介護体験

学校名等	実習内容	実習場所	期間	人数
藤女子大学	介護体験実習	デイサービスセンターはる	H19.8.20-8.24	1
			H19.8.27-8.31	1
北翔大学	介護体験実習	デイサービスセンターはる	H19.11.13-15	1

デイサービスセンターはっさむ はる

(1)概況

平成19年2月の、認知症対応型通所介護事業の休止に伴ない、定員30名の通所介護(介護予防通所介護)事業に変更する。利用人数も着実に増加していき、同年11月には、一日平均利用人数が20名を超え、さらに、平成20年に入り新規希望の問い合わせ、他サービスからの変更が相次ぎ利用人数が30名近くに達する日が多くなってきている。その為、定員を35名に引き上げる事も検討している。

現在の利用人数を維持していく為、ご本人・ご家族様との信頼関係、職員の意識・技術の向上をさらにはかり、居宅介護支援事業所並びに関係機関との連携をはかる為に、サービス担当者会議への参加を積極的に行っていく。

現在、西区内には通所介護・通所リハビリテーション事業所が30ヶ所以上あり、利用者様のニーズに応え、信頼できる事業所として地域に認められるよう努力していく。

(2)月・介護度別利用状況
通所介護(通常規模型)

月	実施日数	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		実利用人数計	延利用人数計	1人平均月利用日数	1日平均利用人数	平均介護度
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数					
4	21	3	10	10	53	16	103	17	95	3	12	6	28	0	0	55	301	5.5	14.3	
5	23	3	14	10	50	20	124	16	107	2	12	5	16	0	0	56	323	5.8	14.0	
6	21	3	12	9	45	25	152	18	120	5	32	4	15	1	1	65	377	5.8	18.0	
7	22	3	14	8	43	25	154	22	135	7	51	4	9	1	4	70	410	5.9	18.6	
8	23	3	11	8	46	24	150	21	143	8	56	3	11	0	0	67	417	6.2	18.1	
9	20	3	12	7	39	26	143	20	128	8	53	5	11	1	2	70	388	5.5	19.4	
10	23	3	12	7	41	26	147	18	146	13	81	5	17	1	3	73	447	6.1	19.4	
11	22	3	13	7	42	27	160	19	149	13	89	6	24	0	0	75	477	6.4	21.7	
12	20	3	12	10	54	25	162	26	168	13	79	9	36	0	0	86	511	5.9	25.6	
1	20	3	12	12	66	28	162	26	162	15	77	6	25	1	2	91	506	5.6	25.3	
2	21	4	15	11	73	30	188	25	171	11	78	7	38	1	3	89	566	6.4	27.0	
3	21	4	15	9	61	32	204	26	173	14	91	7	38	2	7	94	589	6.3	28.0	
合計	257	38	152	108	613	304	1,849	254	1,697	112	711	67	268	8	22	891	5,312	6.0	20.7	1.77
構成比		4.3	2.9	12.1	11.5	34.1	34.8	28.5	31.9	12.6	13.4	7.5	5.0	0.9	0.4	100.0	100.0			
H18年度	148	17	76	47	219	92	517	55	270	23	111	17	74	0	0	251	1,267	5.0	8.6	1.56
構成比		7.3	6.0	20.1	17.3	39.3	40.8	23.5	21.3	9.8	8.8	7.3	5.8	0.0	0.0	100.0	100.0			

※平均要介護度は、要支援1=0.375、要支援2=1、要介護1=1、要介護2=2...として計算。

(3)おためし利用の利用状況

月	平成18年度				平成19年度			
	実利用人数計	延利用人数計	1人平均月利用日数	うち未利用件数	実利用人数計	延利用人数計	1人平均月利用日数	うち未利用件数
4					1	1	1.0	0
5					5	5	1.0	0
6					9	10	1.1	1
7					3	3	1.0	0
8					4	4	1.0	0
9	5	5	1.0	0	1	1	1.0	0
10	14	14	1.0	0	2	2	1.0	0
11	13	13	1.0	0	11	11	1.0	0
12	3	3	1.0	1	8	8	1.0	1
1	9	9	1.0	0	3	3	1.0	1
2	6	6	1.0	0	1	1	1.0	0
3	2	2	1.0	0	5	5	1.0	2
合計	52	52	1.0	0	53	54	1.0	5

(4) 月別利用人数年度比較
通所介護(通常規模型) 前年度比較

月	利用状況								増減			
	平成18年度				平成19年度							
	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日
4					21	52	301	14.3				
5					23	53	323	14.0				
6					21	62	377	18.0				
7					22	67	410	18.6				
8					23	64	417	18.1				
9	21	9	43	2.0	20	67	388	19.4	▲1	58	345	17.4
10	22	18	90	4.1	23	70	447	19.4	1	52	357	15.3
11	22	29	136	6.2	22	72	477	21.7	0	43	341	15.5
12	21	33	174	8.3	20	83	511	25.6	▲1	50	337	17.3
1	20	42	186	9.3	20	88	506	25.3	0	46	320	16.0
2	20	48	268	13.4	21	85	566	27.0	1	37	298	13.6
3	22	55	294	13.4	21	90	589	28.0	▲1	35	295	14.7
合計	148	234	1,191	8.0	257	853	5,312	20.7	109	619	4121	12.6

(5) 月別利用料請求内訳
通所介護(通常規模型)

月	利用料(利用者負担金)					合計
	利用者負担	自費請求	食材料費	紙おむつ代	延長料金	
4	252,330	0	178,800	510	0	431,640
5	264,002	0	192,600	490	0	457,092
6	313,620	0	226,200	290	0	540,110
7	338,688	0	232,200	150	0	571,038
8	351,045	0	250,200	310	0	601,555
9	324,824	0	232,800	120	0	557,744
10	373,752	0	261,600	280	0	635,632
11	395,287	1,333	286,200	170	0	682,990
12	430,782	0	306,600	0	1,500	738,882
1	420,758	0	303,000	620	0	724,378
2	457,331	4,072	339,000	30	1,500	801,933
3	477,977	13,091	352,200	280	0	843,548
合計	4,400,396	18,496	3,161,400	3,250	3,000	7,586,542
H18年度 1ヶ月 当初平均	828	3	595	1	1	1,428
H18年度 1ヶ月 当初平均	1,037,477	0	761,400	1,580	0	1,800,457
H18年度 1ヶ月 当初平均	819	0	601	1	0	1,421

(6)地域別登録者状況

(平成20年3月31日現在)

地域	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計
西区発寒	2	5	11	9	9	3		39
西区八軒		2	4	6	9	2	1	24
西区琴似	1	1		1				3
西区西野			4	2	1		1	8
西区西町南	1							1
西区山の手			1					1
手稲区富丘			1					1
手稲区新発寒			6	3				9
手稲区西宮の浜		1		2				3
北区新琴似			1	1				2
北区新川			1					1
北区新川西					1			1
中央区北1条				1				1
中央区宮の森			2					2
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
合計	4	9	31	25	20	5	2	96

デイサービスセンターはる北17条

(1)概況

平成20年1月7日に、定員15名の通所介護(介護予防通所介護)事業所を新規開設。
 開設当初は、新規利用の問い合わせが少なかったが、利用人数増加のために、周辺の居宅介護支援事業所への案内・個別宅へのチラシ投函を行ない、その後も、通常の事業実施地域(送迎範囲)の拡大や、居宅介護支援事業所への広報誌等の送付により、レクリエーション等の事業所のサービス内容の情報提供に努めた結果。見学希望、おためし利用の問い合わせが居宅支援事業所などからきている。
 現在、事業計画通りに利用人数は推移している。北区内には通所介護・通所リハビリテーション事業所が40ヶ所以上あり、地域のニーズに応え、利用人数を増加させていくために、サービス内容の質を向上させ、今後なお事業所の特色を打ち出して行くことが重要な課題である。

(2)月・介護度別利用状況
 通所介護(通常規模型)

月	実施 日数	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		実利用 人数計	延利用 人数計	1人平均 月利用 日数	1日平均 利用 人数	平均 介護度	
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数						
4	日																				
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
1	18	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3	3.0	0.2		
2	20	0	0	0	0	1	3	3	11	1	8	0	0	0	0	5	22	4.4	1.1		
3	20	0	0	0	0	1	6	2	16	1	8	1	1	0	0	5	31	6.2	1.6		
合計	58	0	0	0	0	2	9	6	30	2	16	1	1	0	0	11	56	5.1	1.0	2.18	
構成比		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
H18年度																					
構成比		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

※平均要介護度は、要支援1=0.375、要支援2=1、要介護1=1、要介護2=2...として計算。

(3)おためし利用の利用状況

月	平成18年度				平成19年度			
	実利用 人数計	延利用 日数計	1人平均 月利用 日数	うち 未利用 件数	実利用 人数計	延利用 日数計	1人平均 月利用 日数	うち 未利用 件数
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
1					0	0	0.0	0
2					4	1	1.0	0
3					4	3	1.0	0
合計					8	4	2.0	0

(4) 月別利用人数年度比較
通所介護(通常規模型) 前年度比較

月	利用状況								増減			
	平成18年度				平成19年度				実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日
	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日				
4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
5	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
6	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
7	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
8	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
9	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
10	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
11	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
12	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1	/	/	/	/	18	1	3	0.2	/	/	/	/
2	/	/	/	/	20	5	22	1.1	/	/	/	/
3	/	/	/	/	20	5	31	1.6	/	/	/	/
合計	/	/	/	/	58	11	56	1.0	/	/	/	/

(5) 月別利用料請求内訳
通所介護(通常規模型)

月	利用料(利用者負担金)					合計
	利用者負担	自費請求	食材料費	紙おむつ代	延長料金	
4	/	/	/	/	/	/
5	/	/	/	/	/	/
6	/	/	/	/	/	/
7	/	/	/	/	/	/
8	/	/	/	/	/	/
9	/	/	/	/	/	/
10	/	/	/	/	/	/
11	/	/	/	/	/	/
12	/	/	/	/	/	/
1	2,816	0	1,800	0	0	4,616
2	20,774	0	13,200	0	0	33,974
3	30,918	0	18,600	340	0	49,858
合計	54,508	0	33,600	340	0	88,448
H19年度 1-3月 当月平均	973	0	600	6	0	1,579
H18年度 1-3月 当月平均	/	/	/	/	/	/

7 苦情受付状況

デイサービスセンターはっさむ はる(1件)

受付年月日	申立人	苦情内容	対応状況等
H19.8.14	母	<p>ヘルパー(通院の介助)利用のキャンセルについて電話連絡をしていたが、迎えにきた。</p> <p>ヘルパー事業所からも、キャンセル料の発生と、請求先についての問い合わせを受ける。</p>	<p>前日夜、本人が体調不良となったため、母が、利用キャンセルの電話(翌日午前7:30自宅迎え予定)を事業所にしている。担当ケアマネジャーが退勤後であり、対応した職員がメモでの連絡にとどめていた。</p> <p>担当ケアマネジャーが当日朝出勤、メモを確認して電話連絡をするが、すでにヘルパーが迎えに行き、キャンセルとなってしまった後であったため、連絡の不手際があったことを説明し、謝罪する。</p> <p>キャンセル料は、当事業所で負担することとし、ヘルパー事業所に支払いを行なっている。</p> <p>事業所内での、連絡の徹底について確認している。</p>

2 職員状況

(1)職員の採用・退職概況

年度	年度当初在籍職員数			採用職員数			退職職員数			年度末在籍職員数		
	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計
前年度	53人	21人	74人	5人	19人	24人	3人	7人	10人	55人	33人	88人
本年度	54人	32人	86人	3人	25人	28人	7人	18人	25人	50人	39人	89人
比較	1人	11人	12人	-2人	6人	4人	4人	11人	15人	-5人	6人	1人

(2)職員の配置状況(平成20年3月31日現在)

区分	管理者		医師		相談員		介護職員		看護職員		その他職員		合計			
	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任		
特養	正職員		1人				1人	1人	26人	1人	3人	2人	5人	4人	35人	9人
	臨時職員								37人						38人	人
	計	人	1人	1人	人	1人	1人	63人	1人	3人	2人	5人	4人	73人	9人	
通所介護	正職員		1人				1人	1人	1人	3人	1人	1人		2人	3人	8人
	臨時職員								2人						2人	人
	計	人	1人	人	人	1人	1人	3人	3人	1人	1人	人	2人	5人	8人	
居宅事業所	正職員		1人										1人	1人	1人	2人
	臨時職員														人	人
	計	人	1人	人	人	人	人	人	人	人	人	1人	1人	1人	2人	
北17条	正職員	1人					1人		1人		1人				4人	人
	臨時職員														人	人
	計	1人	人	人	人	1人	人	1人	人	1人	人	人	人	人	4人	人
	正職員														人	人
	臨時職員														人	人
	計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	正職員														人	人
	臨時職員														人	人
	計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	正職員														人	人
	臨時職員														人	人
	計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	正職員														人	人
	臨時職員														人	人
	計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
合計	正職員	1人	3人	人	人	3人	2人	28人	4人	5人	3人	6人	7人	43人	19人	
	臨時職員	人	人	1人	人	人	人	39人	人	人	人	人	人	40人	人	
	計	1人	3人	1人	人	3人	2人	67人	4人	5人	3人	6人	7人	83人	19人	

(3)職員の有資格状況(平成20年3月31日現在)

資格名	正職	臨職	計	資格名	正職	臨職	計
医師	人	1人	1人	管理栄養士	2人	人	2人
保健師	人	人	人	栄養士	人	人	人
助産師	1人	人	1人	理学療法士	1人	人	1人
看護師	7人	人	7人	作業療法士	人	人	人
准看護師	人	人	人	言語聴覚士	人	人	人
介護福祉士	30人	6人	36人	介護支援専門員	7人	人	7人
社会福祉士	3人	1人	4人	計	51人	8人	59人

(3)職員の給与支給状況(平成20年3月31日現在)

区分	正職数	臨職数	職員俸給	職員諸手当	退職共済掛金	法定福利費	非常勤職員給与	合計
特養ホーム	41	37	101,028,927円	84,908,282円	5,274,600円	29,150,499円	57,382,312円	277,744,620円
デイサービス	4	2	12,620,533円	10,238,359円	491,700円	3,347,629円	4,249,600円	30,947,821円
居宅支援事業所	2	0	4,315,200円	4,002,174円	134,100円	1,004,893円	円	9,456,367円
デイサービス北17条	3	0	1,560,439円	745,766円	円	246,427円	円	2,552,632円
								円
								円
								円
計	50人	39人	119,525,099円	99,894,581円	5,900,400円	33,749,448円	61,631,912円	320,701,440円
職員一人当たり平均			2,390,502円	1,997,892円	118,008円	674,989円	1,580,305円	

7 利用料減免状況

(単位:円)

事業所	区分	延対象者数	本来の負担額	減免額	本人実負担額	減免額のうち	
						札幌市補助金	法人負担額
介護老人 福祉施設	平成18年度	95	4,656,821	1,166,721	3,490,100	377,000	3,113,100
	1人当り月額		49,019	12,281	36,738	3,968	32,769
	平成19年度	159	8,162,684	2,040,717	6,121,967	608,000	5,513,967
	1人当り月額		51,338	12,835	38,503	3,824	34,679
							0
				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
短期入所 生活介護	平成18年度	4	39,724	9,933	29,791	0	29,791
	1人当り月額		9,931	2,483	7,448	0	7,448
	平成19年度	11	156,948	39,245	117,703	0	117,703
	1人当り月額		14,268	3,568	10,700	0	10,700
							0
				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
通所介護	平成18年度	12	82,374	20,599	61,775	7,000	54,775
	1人当り月額		6,865	1,717	5,148	583	4,565
	平成19年度	24	156,306	39,086	117,220	0	117,220
	1人当り月額		6,513	1,629	4,884	0	4,884
							0
				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
北17条	平成18年度						0
	1人当り月額		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	平成19年度						0
	1人当り月額		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
							0
				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	平成18年度	111	4,778,919	1,197,253	3,581,666	384,000	3,197,666
	1人当り月額		65,815	16,481	49,334	4,552	44,782
	平成19年度	194	8,475,938	2,119,048	6,356,890	608,000	5,748,890
	1人当り月額		43,690	10,923	32,767	3,134	29,633
				0	0	0	0
				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

1 総括

はっさむはる

平成 19 年度、開設一周年を迎えたはっさむはるは、近隣住民・各団体等の施設利用や見学、新規開設の新型特養の研修受け入れ、札幌市新採用職員現場実習の受入れ、更に地域の高齢者事業への会場の定期貸与などが加わり地域の施設としての定着が進みつつ、また施設を地域に開放し交流を行うための活動を視野に入れ、地域で活動している絵画グループの展覧会を開催するなど地域とのネットワーク作りの一端を作り上げるきっかけ作りができた。

平成 19 年度はパート職員の離職が目立ち介護員の確保に苦慮する事が多々発生した。しかし介護員不足を職員全体でカバーし危機を乗り越え現在はパート職員が安定して勤務している。今後もこの状況を継続していくよう努力する。また現職員が更に質の高いサービスの提供がおこなえるよう法人内研修の参加と、外部研修の参加機会を増やすなど職員の知識・技術の向上に努めた。更に施設内学習会の定例化を試み職員自身の学習意欲が見られる年でもあった。

特養は平成 19 年度末には 183 名の待機者となり、待機者の中には施設入居の緊急性の高い人が増加しており、利用者の退所時は次期入所者までの期間を可能な限り短縮し空き室を作らないように稼働が高まる取り組みを行った。

短期入所生活介護(ショートステイ)は平成 18 年度当初は計画通り稼働を上げることが出来ずだったが、平成 19 年度はリピーターの増加とともに新規利用者が増え、それに伴い稼働が高まった。居宅ケアマネジャーの信頼が得られ支援を頂く事が出来た結果と考えている。今後も地域の信頼を得るべく質の高いケアが提供できるように取組んでいく。

通所介護事業(デイサービス)は、近隣既存事業所との競合や、介護予防への移行によるデイサービス利用者の減少などで苦戦をしていたが、地域への浸透度が高まったためか年度末に向け稼働がのびてきた。他方、平成 19 年 12 月開設の、「デイサービスセンター北 17 条はる」は開設許可が繰り延べとなりサービス提供開始が平成 20 年 1 月と誤算が生じ、来年度の課題を背負ってのスタートとなったが、稼働を高めるよう今後も関係機関へ働きかけをしていく。

居宅介護支援事業所の給付管理件数は 649 件(札幌市外の管理給付 35 件)と増加し管理件数の引き上げをおこなった。

家族懇談会の開催を定期化して4回計画したが、12 月にはノロウイルス感染症発症で中止した。参加総数 59 名ではあるが、家族との関わりや意見交換による信頼関係の構築を図る事ができ次年度も継続する事業として取組む姿勢である。

また季節ごとに行事を開催し入所者の生活に変化をもたらす事が出来、更にボランティアの受け入れも徐々に進み、施設独自のボランティアグループが育ちつつある。

利用状況については各事業別事業報告に詳細を記述しているが、施設サービス事業については、特別養護老人ホームの延利用人数が 29,819 人、居宅サービス事業では短期入所生活介護(ショートステイ)の延利用人数が 3,681 人、通所介護事業(デイサービス)では合計延利用人数 4547 人、(予防 765 名)とそれぞれの事業所がその活動が成就するように努力を重ねた年であった。

3 職員会議

チームアプローチによる総合的ケアの推進と、部署及び職種間の緊密で円滑な連携を実現するため、必要な以下の会議を適宜開催し、職員相互の理解と情報の共有化を図った。

(1) 全施設

- 1) **朝礼** (総合施設長、施設長、介護職、看護職、栄養士、事務職等参加可能職員)
平日毎朝 8:30～ 10 分間 246 回実施
- 2) **朝ミーティング** (総合施設長、施設長、介護職、看護職、栄養士、事務職等参加可能職員)
毎週水曜朝礼終了後 10 分間 18 回実施
- 3) **運営定例会議** (総合施設長、施設長、各主任・主任補佐、他関係職員)
毎月第2・4火曜日 16:00～ 1 時間 9 回実施
- 4) **職員全体会議** (全職種職員)
隔月 1 回 19:00～ 1 時間 3 回実施
- 5) **給食会議** (施設長、栄養士、厨房調理師、委託先職員、他関係職員)
毎月第1金曜日 16:00～ 1 時間 8 回実施

(2) 特別養護老人ホームはっさむはる

- 1) **リーダー会議** (施設長、介護主任、ユニットリーダー、他関係職員)
毎月第3木曜日 17:00～ 12 回実施
- 2) **入所判定会議** (総合施設長、施設長、各主任、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、第三者委員)
適宜随時 4 回実施
- 3) **ユニットケアカンファレンス** (施設長、介護職、看護職、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、他関係職員)
各ユニット適宜随時 1 時間 72 回実施
- 4) **学習委員会** (学習委員会メンバー)
毎月第1木曜日 17:00～ 1 時間 4 回実施
- 5) **感染症対策委員会** (感染防止委員会メンバー)
毎月第3火曜日 17:00～ 1 時間 11 回実施
- 6) **行事委員会** (行事委員会メンバー)
毎月第1月曜日 19:00～ 1 時間 4 回実施
- 7) **業務委員会** (業務委員会メンバー)
毎月第1火曜日 17:00～ 1 時間 8 回実施
- 8) **事故防止委員会** (事故防止委員会メンバー)
毎月第2木曜日 17:30～ 1 時間 11 回実施
- 9) **ボランティアサポート委員会** (ボランティアサポート委員会メンバー)
毎月第2水曜日 17:00～ 1 時間 4 回実施
- 10) **身体拘束廃止委員会** (身体拘束委員会メンバー) *平成19年度発足
毎月第1火曜日 18:00～ 1 時間 3 回実施
- 11) **褥瘡予防委員会** (褥瘡予防委員会メンバー) *平成19年度発足

- 毎月第1火曜日 19:00～ 1時間 2回実施
12) 虐待防止委員会 (虐待防止委員会メンバー) *平成19年度発足
毎月第1木曜日 18:00～ 1時間 2回実施

(3) デイサービスセンターはっさむはる

- 1) 朝・夕ミーティング (管理者、介護職、看護職、ソーシャルワーカー、他関係職員)
毎日 8:35～5分間 17:15～15分間 514回実施
- 2) 新規利用判定会議 (管理者、介護職、看護職、ソーシャルワーカー、他関係職員)
適宜随時 50回実施
- 3) ケアカンファレンス (管理者、介護職、看護職、ソーシャルワーカー、他関係職員)
毎月第2水曜日 17:30～ 1時間 13回実施
- 4) 行事会議 (介護職、看護職、ソーシャルワーカー)
毎月第1水曜日 17:30～ 1時間 12回実施
- 5) 事故検討会議 (介護職、看護職、ソーシャルワーカー) *平成19年度より開催
適宜随時 1回実施

(4) 居宅介護支援事業所はっさむ「はる」

- 1) 朝・夕ミーティング (管理者、ケアマネージャー)
毎日 8:40～9:00 16:30～17:00 485回実施
- 2) 会議 (管理者、ケアマネージャー)
毎月第1火曜日 6回実施

4 職員研修 (別紙)

5 防 火 管 理 等

(1) 避難訓練及び消火訓練の実施

1回目 平成18年12月15日実施

夜間想定通報・避難誘導訓練

特養

20名参加

(2) 消防用設備点検の実施

平成19年 1月25日実施

委託先 ホーチキシステム㈱

内容

消火器具、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、非常放送設備、
誘導灯・誘導標識、非常電源(自家発電設備・蓄電池設備)、
防火扉設備・防火シャッター、配線点検

6 苦 情 受 付 状 況

平成18年度に寄せられた苦情はございませんでした。

7 その他

(1) 広報活動事業

- | | | |
|-----|----------|-------------|
| 特養① | H19. 3月 | 広報誌「暖」10号発行 |
| デイ① | H18. 10月 | 広報誌「はあとふる」 |
| ② | H18. 11月 | 広報誌「はあとふる」 |
| ③ | H18. 12月 | 広報誌「はあとふる」 |
| ④ | H19. 1月 | 広報誌「はあとふる」 |
| ⑤ | H19. 2月 | 広報誌「はあとふる」 |
| ⑥ | H19. 3月 | 広報誌「はあとふる」 |

(2) 監査等の実施

i) 札幌中央労働基準監督署労働監督官による実地指導

平成18年11月13日(月) 於特別養護老人ホームはっさむはる

ii) 平成18年度社会福祉施設指導監査(札幌市指導監査室)

平成18年12月12日(火) 於特別養護老人ホームはっさむはる

4 職員研修

職員の資質向上、専門的知識の習得を目的として、以下の外部研修に積極的に参加し施設内においても以下のとおり自主研修を開催した。

(1)施設外研修

開催年月日	研修内容	参加職種	参加人数
【ホーム】			
4/20	介護予防のための運動指導～科学的根拠に基づく健康づくり	看護師・理学療法士・ケアワーカー	3
4/26	「魅力ある職場の環境づくり」	看護師	1
5/30～5/31	新任介護職員研修Ⅰ	ケアワーカー	1
6/4～6/5	介護職員専門研修	ケアワーカー	1
7/31	高齢者施設における暮らしと食の関係in北海道	管理栄養士	2
9/6～9/8	第9回日本褥瘡学会学術集会	看護師	1
11/20	年末調整等説明会	事務員	2
1/21～1/25	認知症実践者研修	ケアワーカー	1
1/26	北海道看護協会研修会「病院感染対策の基本」	看護師	1
1/28	認知症実践者研修外部実習	ケアワーカー	1
2/13	認知症実践者研修実習報告会	ケアワーカー	1
2/18～2/22	認知症実践者研修	ケアワーカー	1
2/25～2/26	北海道看護協会「認知症の医療とケア」等	看護師	2
2/25～2/29	ユニットリーダー実地研修	ケアワーカー	1
2/26	認知症実践者研修外部実習	ケアワーカー	1
3/18	認知症実践者研修実習報告会	ケアワーカー	1
【デイサービス】			
4/20	介護予防のための運動指導～科学的根拠に基づく健康づくり	ケアワーカー	1
5/17～5/18	新任施設相談員研修	ソーシャルワーカー	1
8/23～8/24	デイサービスセンター職員スキルアップセミナー	看護師	1
12/10	新任介護職員研修	ケアワーカー	1
12/18～12/19	福祉職場の管理・指導職員養成研修Ⅰ チーム力向上研修	ソーシャルワーカー	1
1/22～1/23	福祉職場の管理・指導職員養成研修Ⅱ 問題解決力向上研修	ケアワーカー	1
【居宅介護支援事業所】			
5/9～5/11	介護支援専門員研修Ⅰ	ケアマネージャー	1
5/16～5/18	介護支援専門員研修Ⅰ	ケアマネージャー	1
6/29	介護支援専門員研修	ケアマネージャー	2
8/30	札幌市第1回ケアプラン指導研修会	ケアマネージャー	2
11/15	介護保険施設等に対する集団指導	ケアマネージャー	1
2/26	札幌市第2回ケアマネジメント研修	ケアマネージャー	1

7 苦情受付状況

特別養護老人ホーム(8件)

受付年月日	申立人	苦情内容	対応状況等
19.4.25	家族	本日入居されたゆずユニットのS.T様(女性)「直前のショートステイ時、今まで使用したことのないバットを挟めて帰って来た。」ことについて、「下着の確認が出来ていないのではないか?」と不信感の口調が聞かれた。自宅では毎晩、着替える前に娘さんが新しい下着を用意しておき、本人が寝てから着ていた物を回収しているとのこと。入居したばかりで、『出来るだけ自宅での対応と同じようにしてほしい』とご家族の要望強い。	ゆずスタッフ・介護主任が対応。 ご家族の要望が細かく、その訴えや説明が1時間以上続く。「これからご家族の面会時に、ご希望がありましたら教えて下さい。」と対応する。
19.4.14	本人	なんてんユニットS.K様(男性) 夜間の排尿後ONコールありベッドからの起き上がり時にろれつが回らない状態で「起き上がれないのを黙って見ていてさぞ楽しかろう。」と苦情あり。	なんてんスタッフが対応 最近、夜間に夢と勘違いしているのか、混乱した言動が多い。この件は訪室時自力で起き上がろうとしていた為、一度ボディタッチで止め、再度声掛けして介助したが、自力でも行なえると判断し、見守っていた状況だった。ご本人は全盲の為、その様子が伝わらなかつたと思われる。職員の対応が不十分だった事を謝罪するが興奮治まらず、次の日再度謝罪行ない、「それはいいんだ・・・娘や孫に迷惑掛けて・・・」と涙を流された。
19.6.20	家族	ゆずユニットS.T様(女性) 6/17(日)娘さん面会後の就寝前、右目じりに内出血みられた。本人は自室の冷蔵庫を開けようとしてぶつけた・・・と言っている。様子観察を続け、その報告を6/20に行なったが、『その対応が遅い。』ということに苦情あり。「バイアスピリンを服用しているの、琴似ロイヤル病院の医師からは内出血が見られた時は中止、と言われている。早く報告できれば対応できたのに。」	看護・介護統括主任が対応 バイアスピリンの内服を中止するか問うと、「それは医師の判断でしょ!」と濁された為、明日朝の分は中止し、以降は囑託医の指示を仰ぐ、ということに納得された。
19.12.5	長女	かりんユニットS.R様(男性) ノロウィルスの対策について苦情あり。①施設の都合で一方向的に面会禁止をするのはいかなものか?娘の顔も忘れてしまうのでは?②本当にノロウィルスなのか?③外出が出来るような人が入居しているから、外食もしたくなる。このような迷惑をかけた人をそのまま入居させておく必要はないのではないかな?	SW・事務長が対応 蔓延を避ける為に必要な対応ということを説明する。今後の進捗状況を都度報告する事で納得していただく。
19.12.7	本人	うめユニットT.S様(男性) 個人で朝刊を購入しており、本人の希望にてステーションまで早朝取りに行っている。ある時から隣の部屋の方が自分のと一緒にT氏の分も取りに言ってくれるようになったが、本人は「悪いから・・・」と今度は自分が代わりに取りに行つてあげたいことを希望し、ユニット職員が夜勤の時に朝5時に起こしていた。しかし、他ユニットの職員が夜勤の時は「そんなに早く起きなくてもよい。」といわれた事に立腹されており、苦情となる。	うめスタッフが対応 職員同士の伝達不足だったことを謝罪。「あなたに伝えれば良いと俺は思っているから・・・頼むよ。」と納得していただけた。
19.12.15	本人	うめユニットT.S様(男性) 「昨晚、K氏が入ってきてテレビをつけた。鍵はどうなっているんだ!いろんな人が入ってきて困る。」と苦情あり。	うめスタッフが対応 T氏の部屋のドアに鍵をつける準備は進めているが、時期など説明不足だったことを謝罪する。再度、事務に相談する事で納得された。
19.12.5	四女	なんてんユニットI.T様(女性) 同施設に入居しているT氏には母の事を紹介しないで欲しい、とお願ひしていたのに、T氏から「職員にあなたのお母さんを紹介してもらった。」と言われた。特定の職員の名前も出ている、と苦情あり。最近、母が落ち着かないのはT氏と会って話したことが混乱の原因ではないかと思う。他にも①氏名で呼ぶように統一して欲しい。②他利用者の下着が母のタンスに混じっていた。③撤去した冷蔵庫の棚・野菜ケースが紛失した事について、あったでもなかったでも最終報告がない。④腕時計・指輪がなくなっていることも正式な報告がない。入居当初は信頼していたが、最近は職員間の連携が取れていないと感じる事が多々ある。	SWが対応 職員とT氏に確認したがわざわざ直接紹介してもらった経緯はなく、I.T氏がT氏のユニットに訪問時、「娘さんと顔が似ているからわかった。」とのこと。その事には四女さんは納得していただけない様子だったが、「何かが原因で落ち着かない日々を送っていた」ことを謝罪。1日でも早く落ち着いた日々が過ぎせるよう、ユニット職員と検討する事を伝える。
20.3.22	本人	くるみユニットT.K様(女性) 「他ユニットのショートステイの人が朝方部屋に入ってきて、塗り絵を持っていった!」と苦情あり。	夜勤スタッフ対応 朝方の徘徊がある方だった為、事情を説明し謝罪する。

特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)はつさむはる

(1)概況

開設して二年度目を迎えた本年度は、利用者の平均年齢が84.7歳と増加し、平均介護度は3.33とほぼ横ばいとなっている。本年度より特例入所枠を用いて、入居の緊急性が高い待機者に対し特例入所措置を行った。その結果、延べ利用人数は29,819名、一日当りの平均利用人数は81.5名と前年度(稼働期間七ヶ月)の実績を大きく上回った。

また、家族懇談会を定期的に開催し家族等からの意見や要望を施設運営に反映させる取り組みや、ボランティアの受け入れ及び発寒幼稚園の園児との交流、地元町会を含む外部団体へ小ホールの開放や夏祭りの開催等を通じ、地域との連携を深めることができた。

(2)特養ホーム月別・介護度別入所利用状況

月	日数	利用状況												実利用人数計	延利用人数計	1人平均月利用日数	1日平均利用人数	平均介護度
		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5						
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数					
4	30	0	0	4	96	13	369	25	750	28	816	12	360	82	2,391	29.2	79.7	
5	31	0	0	5	155	13	375	26	792	27	807	12	372	83	2,501	30.1	80.7	
6	30	0	0	6	155	13	390	25	750	25	750	13	381	82	2,426	29.6	80.9	
7	31	0	0	6	186	13	403	25	775	25	775	12	372	81	2,511	31.0	81.0	
8	31	0	0	6	186	14	420	25	775	25	775	12	372	82	2,528	30.8	81.5	
9	30	0	0	7	210	12	360	24	720	26	780	14	403	83	2,473	29.8	82.4	
10	31	0	0	7	217	12	372	24	744	26	806	14	434	83	2,573	31.0	83.0	
11	30	0	0	6	180	14	399	24	720	24	694	16	472	84	2,465	29.3	82.2	
12	31	0	0	6	155	14	434	26	790	24	718	15	446	85	2,543	29.9	82.0	
1	31	0	0	6	175	14	434	24	744	24	744	14	434	82	2,531	30.9	81.6	
2	29	0	0	7	203	13	348	24	696	23	667	14	406	81	2,320	28.6	80.0	
3	31	0	0	10	276	11	341	24	735	24	744	15	461	84	2,557	30.4	82.5	
合計	366	0	0	76	2,194	156	4,645	296	8,991	301	9,076	163	4,913	992	29,819	30.1	81.5	3.33
構成比		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%			
		0.0	0.0	15.0	14.9	13.3	12.0	25.0	27.9	30.3	21.9	16.4	23.2	100.0	100.0			
H18年度	212	0	0	18	511	133	2,243	174	4,743	233	4,583	75	2,087	995	14,167	14.2	66.8	3.39

*注 平均介護度は、実人数ベースで計算した。

(3)月別利用料請求内訳

月	利用料(利用者負担金)							合計
	利用者負担額	食事負担額	預かり金管理代	タオル代	居住費	医療材料費	減免額	
4	2,047,366	1,614,860	75,000	41,490	3,155,010	0	△ 157,208	6,776,518
5	2,094,458	1,656,460	73,000	43,760	3,298,160	1,480	△ 180,840	7,167,318
6	2,072,538	1,620,390	74,000	43,855	3,180,490	620	△ 171,185	6,991,893
7	2,183,804	1,708,790	77,000	45,510	3,270,400	1,040	△ 166,232	7,286,544
8	2,185,954	1,686,000	78,000	46,910	3,272,370	1,640	△ 165,845	7,270,874
9	2,121,560	1,611,680	77,000	52,115	3,198,220	1,420	△ 160,962	7,061,995
10	2,206,550	1,683,940	78,000	57,905	3,315,500	200	△ 163,025	7,342,095
11	2,122,969	1,603,270	75,000	56,785	3,135,960	2,200	△ 160,962	6,996,184
12	2,187,203	1,635,320	75,000	58,630	3,162,650	940	△ 166,333	7,119,743
1	2,158,315	1,601,190	76,000	57,010	3,150,850	2,710	△ 181,139	7,046,075
2	1,997,438	1,466,180	75,000	51,340	2,877,090	1,560	△ 177,351	6,468,608
3	2,179,511	1,588,850	77,000	55,165	3,169,530	3,200	△ 189,342	7,073,256
合計	25,557,666	19,476,930	910,000	388,950	38,186,230	17,010	△ 2,040,424	84,601,103
一人一日平均負担額	¥857	¥653	¥31	¥13	¥1,281	¥0.57	-	¥2,837
H18年度	12,361,344	9,901,880	490,860	248,885	19,342,720	0	△ 1,166,721	42,345,689
H18年度平均負担額	¥873	¥699	¥35	¥18	¥1,365	¥0.00	-	¥2,989

※利用者負担額には高額介護サービス費を含む

